

電動昇降テーブル

組立/設置説明書

組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。

■組立部材・部品

梱包①

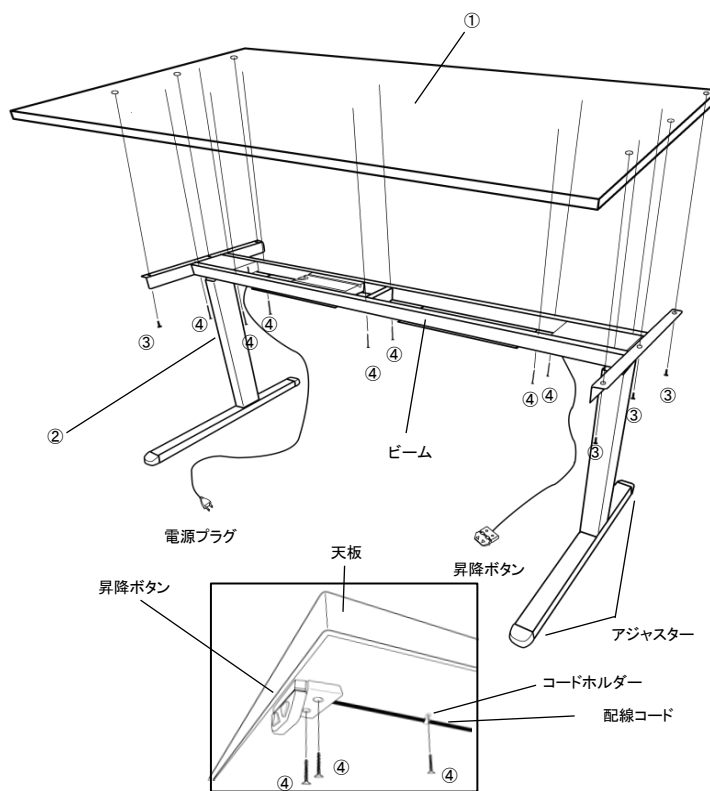
No	部材名称	数量
①	天板	1

梱包②

No	部材名称	数量
②	脚部	1
③	ボルト M6-20 (ワッシャー等込)	6
④	タッピングビス 長	10
⑤	タッピングビス 短	3
⑥	コードホルダー	3

■組立/設置手順

- 手順1. 脚部②のみを所定の場所に設置して下さい。
※がたつきがある場合はアジャスターでレベルを調整して下さい。
- 手順2. 配線コードの振り分けをして下さい。
電源プラグを垂らす位置や昇降ボタンを取り付ける位置を考慮して行ってください。
※電源プラグは上下昇降時に引っ張られる可能性がありますので、最低500mm分はコードの長さにも余裕を持たせて下さい。
- 手順3. 天板①を脚部②の上に仮置きします。
その際、天板裏と脚部の受け部分の穴位置が同じになるよう調整して下さい。コードが天板とビームに挟まらないよう注意して下さい。
- 手順4. 付属のボルト③で天板と脚部をドライバーを使用して6ヶ所仮締めしていきます。
- 手順5. 斜めになったり、固くないか確認をした上で、しっかりと6ヶ所全て締め付けてください。
- 手順6. 付属のタッピングビス④にて、天板①と脚部のビームを10ヶ所固定して下さい。
- 手順7. 手順2. にて振り分けした昇降ボタンを任意の位置に付属のタッピングビス⑤にて固定します。
※コードが垂れることを防ぐため、コードホルダー⑥にてタッピングビスを使用して天板裏で配線コードを固定します。



※導穴が天板裏に2点あります。
(右手前側になります。)



注意

締め込みが弱いと、ぐらつき、破損の原因となります。
また、定期的に緩みがないか確認してください。
緩んでいる場合は、増し締めをしてください。

■注意事項

- ・ボルトを締めこむ際、固く締めにくい場合は無理に締めず、もう一度外してから締め直しをしてください。
無理に締めますとネジ穴が破損し、組立ができなくなったり商品の破損に繋がる恐れがあります。
- ・作業は安定性を十分にご確認いただいた上でおこなってください。不安定な状態で作業をされますと本体が転倒をして破損やけがをすることがあります。
- ・移動する時は、必ず2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床を傷つける原因になります。


取扱説明書

(電動昇降デスク)

保存用

安全上のご注意

お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「取扱説明書」は製品を安全に正しく使用し、ご自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う恐れが想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

製品購入時の注意事項



購入当初、しばらくの間は換気や通風を十分に行うよう心掛けてください。環境基準はクリアしていますが個人の人々の体質により化学物質に過敏に反応する場合があります。室内の換気が十分に行われないと室内の化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

温度や湿度の変化による換気の励行



直射日光の当たる場所や冷暖房機器の近くなど、高温、湿気、乾燥の著しい場所での使用は製品の変形やカビの原因となりますのでご注意ください。風通しの良い場所でご使用ください。室内が著しく高温多湿となる場合(温度 28℃、相対湿度 50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内の化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

家具全般の使用上のご注意



- ◆ 直射日光やストーブの熱、冷暖房の風などが家具に直接当たらないようにしてください。変形、変色、火災の原因になります。
- ◆ 家具の上に立ったり、腰かけたりしないでください。転倒して、けがや破損の原因となります。
- ◆ 家具を移動する場合は複数人で行い、絶対に引きずらないで下さい。破損、ガタツキの原因となります。
- ◆ ベンジン、シンナー、化学雑巾等は使用しないでください。変形、変色、破損の原因になります。
- ◆ 床面がタタミやフローリングの場合は敷物を敷き、家具の底部分にフェルトなどを貼ってください。床面のキズ防止になります。

ご使用上の注意



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ◆ 当製品を設置した際、がたつく場合は脚端のアジャスターにて調整し、ご使用ください。ガタつきは破損、ケガの原因となります。
- ◆ 当製品に熱いポットや湯呑などを直接置くと、塗装表面の変色やキズの原因となります。また、ガラスやビニールなどを直に長時間置くと、塗装面の変色やキズの原因となります。
- ◆ 飲み物などをこぼした場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま放置しますと汚れが落ちにくくなります。
- ◆ 濡れた物を長時間置放置しないでください。放置しますと変色・変形の原因となります。
- ◆ 木部は、調湿具合などにより、多少の変形を生じる場合があります。製造工程では予測できなかった変形や割れが生じる場合があります。
- ◆ 木部は日焼けや経年変化によって塗装面に変色が生じる場合があります。
- ◆ 同じ品番の製品であっても、製品ごとに木目や色合いが多少異なります。
- ◆ 長期ご使用にならない場合は、コンセントを抜いてください。

仕様

サイズ:W1500×D750×H630～1100

天板 突板仕様 : 表面 ヴィンテージ調オーク材(ウレタン塗装)
小口 タケ材(ウレタン塗装)
芯材 MDF

天板 マミン仕様 : 表面 メラミン化粧板 オーク柄
小口 樹脂エッジ
芯材 パーティクルボード

脚部:スチールパイプ(紛体塗装) アジャスター付
上下速度 38mm/SEC

ご使用に際してのご注意

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 脚部は最も下がった状態での出荷となります。必ず、リフトシステムの初期化をしてください。
初期化は、システムを適切に作動させるために必要な操作となります。
【初期化の方法】
天板が一番下がった状態で、下降ボタンを長押しします。
天板が約1mm下がり、元の位置に戻って停止した後、初期化が完了します。
※長期に電源プラグを抜いた状態や、停電後に、稀に想定していない動きをすることがあります。その場合も、この操作が必要です。
※初期化しても、動かない場合は、コードがはずれている場合があります。
その場合は、天板底側にある、コントロールボックスなどにコードがしっかりと刺さっているか確認して下さい。
- ③ デスクのまわりに当たったり、引っかかったりするようなものが無いことを確認してください。
- ④ 電源プラグコードの長さに余裕があるかを確認するため、注意しながら昇降ボタンを操作して一番高い位置まで天板を上昇させてください。
- ⑤ 挟み防止機能付きです。昇降時に障害物を自動検知するセンサー機能です。
検知した場合、瞬時に動作を停止し、自動的に3センチ程度戻る機能です。
- ⑥ デューティーサイクルについて
昇降動作を最大2分間連続で操作した場合、その後18分間程度は動作休止が必要です。
このルールが守られない場合、耐久性に影響し、故障の原因となります。
※2分間は、4往復する時間とほぼ同じです。

お手入れ方法

日常のお手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。化学雑巾は表面が変色・変質する場合がありますので使用しないでください。汚れが目立つ場合は薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きの後カラ拭きし十分に乾燥させてください。天然木部分は表面を塗装で保護していますが、筆圧や食器類の底でキズがつくことがありますので下敷きやコースターなどを敷いてご使用ください。